



2015年度 年主題『平和』をつくる

0・1・2歳児 1月主題 「あそぼう」

月のねがい

- ◎手や指を十分使って遊ぶ
- ◎冬の生活習慣を知る
- ◎日々の生活場面の中で祈ろうとする

3・4・5歳児 1月主題 「いっしょに」

月のねがい

- ◎冬の生活習慣を身に付ける
- ◎友だちと協力し、アイデアを出しあい、工夫して遊ぶ
- ◎お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる



ずっと友だちだよ!

新年明けましておめでとうございます！お正月は、ご家族でゆっくりお過ごしになりましたか。

年末、私は教え子に年賀状を書きながら、ふと6年前のある約束のことを思い出しました。その年、私は中年年長の縦割りのクラスを担当していました。3学期になり、年長さんは「ランドセル買ってもらったよ」「お勉強頑張る！」と小学校へ行けるのを心待ちにしていました。年中さんはそんな年長さんの会話を聞いて羨ましそうな様子。ところが、どこの小学校に行くかの話で別々の小学校に進学するのに気づきショックを受ける年中さん！すると、年長さんが「小学校は別々だけど、中学校は一緒だから会えるよ」「中学生に行ったらまた遊ぼうね！ずっとお友だちだからね。」と指切りげんまんの約束していました。年長さんの優しさに、私は胸がいっぱいになりました。

いよいよ一年の最後の学期が始まりました。めいろうこども園のみんなの憧れの年長さんはもうすぐ小学生ですね。年長さんたちのお別れは寂しいけれど、一緒にたくさん遊んで、かかわって過ごしていきたいと思います。ずっとずっとお友だちでいてほしいなと願います。

3学期も行事がたくさんですが、子どもたちの成長をお父さん、お母さん、お友だち、先生たち・・・みんなで喜び合える学期にできたらと思います。今年もどうぞよろしくお願ひします。



今月の聖句 「主は、その人にえらぶべきみちを教えられる。」

詩編 25:12

新年のお慶びを申し上げます。あわせて、子育て中の皆様の上に神様の祝福と加護がありますようにお祈りいたします。

「一年の計は元旦にあり」とは昔からの言い伝えであり、今日なお真理であると思います。一年の計を建てるにあたり、重要なことは何を基準に立てるかです。冒頭のことはその答えを示していると思います。

人生は実に「選択」の連続です。成功も失敗も出発点は自らが良かれと信じて選んだ結果です。結果を反省分析し、次の選択に活かすことが一般的です。それでも再三、再四失敗することがあります。それは、自己の基本的欲求が利己的で他人を喜ばすことを考えないからです。神は「自分のことばかりでなく、他人のことを考えなさい。」「隣人を愛しなさい。」と教えておられます。是非、参考に致しましょう。

前理事長 池田公榮



あひだのあそび

園長

1月の行事予定

8日(金)	3学期始園式(1号:午前保育)
15日(金)	おゆうぎ会予行 ※お弁当
26日(火)	※お弁当
31日(日)	おゆうぎ会



～クリスマス会～



2月の行事予定

1日(月)	振替休日(1号,2・3号希望者)
3日(火)	まめまき
10日(水)	※お弁当
13日(土)	持久走大会(9時～)
15日(月)	持久走大会予備日
23日(火)	2・3月誕生会
25日(木)	冬の一日遠足 ※お弁当
29日(月)	参観日(あじさい・こすもす)



～持久走大会～



～豆まき～

1号認定(幼稚園部)  
入園願書受付中  
ご紹介を何卒宜しく  
お願いします!



あひだのあそび

幼児の生活のリズム・体力・体のバランスについて

学校保健委員会の会議録より

幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校の各機関から集まり、「子どもたちの生活リズムの乱れや、体力・体のバランスのおかしさ」について現状を話し合い、今後の課題や改善への方向性を出し合ってみました。

〈幼稚園・保育園・こども園から〉

- ・ブランコこぎが出来ない
- ・食事は単品が多く、柔らかい物を好む (あごの発達不足)
- ・転んだとき手が出ず顔にケガをする (骨の成長と筋肉に発達のアンバランス)
- ・イスに座るとき背中がぐにゃつしている
- ・就寝時間が遅く、朝からすっきり目覚めない
- ・便秘気味。オムツ外れの年齢が遅くなっている (不快感の体験不足)

〈小学校から〉

- ・走ると転ぶ。跳び箱の着地がマットの外
- ・思わぬことでケガや骨折になる(鉄棒の途中で手を離す)
- ・便秘傾向。歯並びの悪さ。欠食は少ないが単品化傾向
- ・就寝時間の遅延

〈中学校から〉

- ・特定部位だけの運動負荷(部活中の肉離れ、ヘルニア、疲労骨折)
- ・すぐに転がりたがる
- ・精神的な刺激が続き、疲れているのに眠れない

〈養護教諭から〉

自分の体をコントロールする力(調整力)は、2、3才から小学校3、4年生までの様々な運動遊びやスポーツによって身に付けていく。また、外遊びを通して、人との関わり方の基本を学べることを再認識し、外遊びを十分にさせて欲しい。(スポーツ教室等では運動量は満たされるが、偏りがみられる点を留意すること)

現代の子どもたちの生活から「三間(時間・空間・仲間)」が減少したことが、子どもから体を動かす機会を奪い、体力低下を招いていると言われる昨今です。どうしたら子どものからだ作りが出来るかを私たち大人は真剣に考え、実践していく力を身に付けていきたいものです。

今年一年も、子どもたちの健やかな成長を願って、保護者の皆様と一緒に支えていきましょう。

足ることを知る生活

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様のご家庭にとつて、平安で恵みに満ちた一年でありますよう心よりお祈りいたします。

皆様はそれぞれの場所で、年末年始の楽しい一時を過ごされたことかと存じます。ご存じの方もいらつしやると思いますが、年末に行つた飲食店での忘年会の際に、本職員の一部がノロウイルスによる集団食中毒に罹るといふ想定外の出来事がありました。保育利用中の保護者の皆様には、お弁当への変更や外部委託での給食実施等で大変ご迷惑をお掛けいたしました。この場をお借りして、改めてお詫言申し上げます。給食従事者は再度詳細なPCR検査を経て、ノロウイルス陰性の判定を確認した上で、調理を再開しておりますのでご安心ください。

さて、相変わらず世間では、常識では理解しがたい若年層の事件が次々と起こっています。遊び半分友人を死に至らしめたり、欲望を抑えきれず見も知らぬ人を襲つたり：杖拳に暇がありません。昨今よく「平和ボケ」という言葉を耳にしますが、それ以上に「欲求ボケ」を感じざるを得ません。様々なメディアを通して限りなく欲望をあおり立てるこの時代では、物質の豊かさに比例して心が荒んでいくようです。逆境の極致の中でパウロがこう言います。「わたしは、どんな境遇にあつても、足ることを学んだ。わたしは貧に処する道を知つており、富におもも知つてゐる。わたしは、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。」(こころまでの境地にならずとも、「足るを知る」ことの教えは、昔はこの家庭でもあつたことではないでしょうか。

いよいよ三学期を迎えます。一年間の歩みを確かめる仕上げの時です。特に、年長児にとっては就学を控えた大切な時間となります。数々の行事・活動への参加や挑戦も豊かな育ちの種となりますが、何よりあそびを通して培つた探求の喜びや友だちとの交わりは小学校以降の生活の基となることでしょう。人間形成の基礎となる幼児期に得る経験は、後々の人生の大きな宝となるはずで、幼い時に植え付けられた存在の肯定と愛されていることの実感、必ず逆境の日の杖になるに違いありません。与えられた賜物に感謝できる日々となりまうように祈ります。今後ともご支援を宜しくお願ひ致します。